

平成23年度当初予算 施策別概要

331 健康対策の推進

(担当部：健康福祉部)

33101	健康づくり活動の推進	(健康福祉部)
33102	こころの健康づくりの推進	(健康福祉部)
33103	生活習慣病対策の推進	(健康福祉部)
33104	難病等疾病対策の推進	(健康福祉部)
33105	健康産業の育成による健康づくり	(健康福祉部)

< 施策の目的 >

- (対象) 県民一人ひとりが
- (意図) 健康な生活を送っている

< 現状と課題 >

- ・ 「三重県健康づくり推進条例」に基づき、健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」を推進していますが、生活習慣病に依然として多くの県民が罹患していることから、運動・食事・禁煙・口腔ケアなど適正な生活習慣の定着とともに、がん検診や特定健診の受診率、特定保健指導の実施率の向上が必要です。
- ・ こころの健康づくりに関しては、「三重県自殺対策行動計画」に基づいた総合的な対策を進めていますが、本県の自殺者数は年間400人前後と高い水準で推移しており、「地域自殺対策緊急強化基金」を活用した、普及啓発や相談体制の充実など、さらなる自殺対策の推進に向けた取組が必要です。
- ・ 難病患者等に対する療養支援や生活支援、骨髄バンク・臓器移植の普及啓発等については、引き続き推進が必要です。
- ・ 高齢社会の進展などにより、県民の健康志向が高く、健康・医療に関連する多様な製品やサービスが求められており、このニーズに適応した産業振興が必要です。

< 平成23年度の取組方向 >

健康づくりや生活習慣病予防を推進するため、「ヘルシーピープルみえ・21」に基づき、企業、NPO、学校、市町、関係機関との協働により、運動・食事・禁煙・口腔ケアなど個人の適正な生活習慣の定着を支援します。

こころの健康問題に関する正しい知識の普及啓発や相談を実施するなど、関係機関等との連携により「三重県自殺対策行動計画」に基づいた取組を進め、地域全体で総合的な自殺・うつ予防対策を進めていきます。

がん検診、特定健診の受診率向上等に向け、市町、関係機関に加え企業、NPOとも連携をはかることで、疾病の早期発見につなげるとともに、県民が安心して療養できる、切れ目のない医療連携体制の整備をめざします。

難病患者等への医療費助成等を行うとともに、難病患者団体との協働により難病相談を実施するなど、難病患者等へのきめ細かな療養・生活支援を行います。

医療、健康、福祉分野において、産学官連携によるしくみを活用し、産業の振興に取り組みます。

<主な事業>

ヘルシーピープルみえ・21推進事業【基本事業名：33101 健康づくり活動の推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 1公衆衛生総務費)

予算額：(22) 10,448千円 (23) 30,405千円

事業概要：三重の健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」を推進し、健康づくりにかかる普及啓発のほか、平成25年度からの新計画策定に向けた、現計画の評価に必要な調査を実施します。

(一部新)地域自殺対策緊急強化事業【基本事業名：33102 こころの健康づくりの推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 4精神衛生費)

予算額：(22) 52,038千円 (23) 101,124千円

事業概要：「三重県自殺対策行動計画」に基づき、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及啓発や相談、人材育成などを実施するとともに、これらの自殺対策の核となる自殺予防情報センターを設置し、県民との協働による自殺予防の相談のしくみづくりを行います。

(一部新)総合的がん対策推進事業【基本事業名：33103 生活習慣病対策の推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3予防費)

予算額：(22) 225,531千円 (23) 165,210千円

事業概要：がん検診受診率の向上をめざし、市町、関係機関に加え企業やNPOとも協働しながら、がん検診の普及啓発などを進めるとともに、住み慣れた地域の医療機関と専門的な医療機関の連携により、切れ目のないがん医療の提供体制の整備を進めることで、がんの早期発見や死亡の減少につなげます。

難病相談・支援センター事業【基本事業名：33104 難病等疾病対策の推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3予防費)

予算額：(22) 15,209千円 (23) 15,200千円

事業概要：三重県難病相談支援センターにおいて、地域で生活する難病患者やその家族等の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進、就労支援などを実施します。

(難病相談支援員2名、難病者就労コーディネータ - 2名設置)